

平成29年度
東濃西部広域行政事務組合
一般会計、特別会計歳入歳出
決算審査意見書

東濃西部広域行政事務組合監査委員

東 広 監 第 2 号
平成 30 年 6 月 28 日

東濃西部広域行政事務組合
管理者 多治見市長 古川 雅典 様

東濃西部広域行政事務組合

監査委員

尾関 憲一

監査委員

尾関 憲一

平成 29 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 292 条において準用する同法第 233 条第 2
項の規定により審査に付された平成 28 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別
会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出します。

1 審査の期日 平成 30 年 6 月 25 日

2 審査の対象

- (1) 平成 29 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成 29 年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成 29 年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成 29 年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成 29 年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成 29 年度東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成 29 年度東濃西部地域消費生活相談事業特別会計歳入歳出決算
- (8) 平成 29 年度東濃西部広域行政事務組合財産状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

平成 29 年度における当組合の 7 会計の決算総額は、歳入 317,776,664 円、歳出 300,564,288 円、歳入歳出差引額は 17,212,376 円で、主なものとして、東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計で 5,000,000 円、東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計で 4,800,000 円となっている。主歳入財源である各市負担金については、総合計が 125,654,829 円で、全体の 39.54%を占めている。

(1) 東濃西部広域行政事務組合一般会計

◎ 歳入について

第 1 款 分担金及び負担金

一般経費負担金として 30,050,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
12,431,000	8,217,000	9,402,000	30,050,000

第 2 款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、再登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として、7,865,740 円が収入となっている。

第 3 款 繰入金

東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計からの繰入として、総務企画課職員 3 名の平均給料月額 318,000 円が繰入されている。

第 4 款 繰越金

前年度繰越金として、1,766,578 円が収入となっている。

第 5 款 諸収入

雑入として、嘱託職員の雇用保険個人負担分等 52,797 円となっている。

◎ 歳出について

第1款 議会費

当年度組合議会は、定例会2回が開催されている。歳出総額は120,490円のうち、主な支出は議員報酬の117,000円であった。

第2款 総務費

歳出総額は30,086,305円となっており、主な支出は一般管理費で、職員等の人件費26,075,121円となっている。

第3款 衛生費

歳出総額は7,859,740円となっており、主な支出は3市への畜犬登録事務交付金が3,751,359円、嘱託職員の人件費が2,771,431円である。

(2) 東濃西部ふるさと活性化基金特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

東濃地域消防機能広域化研究会負担金として748,829円が収入となっている。各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

中津川市	恵那市	合計
454,896	293,933	748,829

第2款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として12,706,075円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として、256,988円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は23,351,986円となっており、主な支出はふるさと活性化基金補助金17,000,000円、事業委託料3,417,920円となっている。

平成29年度の補助対象事業及び補助金額は次のとおりである。

事業名	補助金額(千円)
「香港ハウスウェア・フェア2017」への出展 (岐阜県陶磁器工業協同組合連合会)	2,000
国際陶磁器フェスティバル'17 (国際陶磁器フェスティバル'17実行委員会)	15,000

また、平成 29 年度広域開催の自主研修の実施結果は次のとおりである。

研 修 内 容	対 象	受講者数
法制執務研修（基礎）	20 代後半～30 代前半	24 名
コミュニケーション研修	20 代事務及び技能労務職員	20 名
公文書作成講座	新規採用職員	35 名
法制執務研修（実務）	20 代後半～30 代	21 名
キャリアデザイン研修	20 代後半	22 名
タイムマネジメント研修	20 代後半～30 代前半	21 名

第 2 款 商工費

歳出総額は 4,150,220 円となっており、主な支出は、東濃西部 3 市 観光 PR パ
ンフレット制作および Web コンテンツ メンテナンス業務委託料として 3,313,440
円、東濃西部地域観光番組制作放送広告料として 699,840 円となっている。

(3) 東濃看護専門学校事業特別会計

◎ 歳入について

第 1 款 分担金及び負担金

衛生費負担金として、50,723,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合 計
15,524,000	7,040,000	28,159,000	50,723,000

第 2 款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は 39,632,000 円で、内訳は授業料 35,100,000 円、入学金
3,700,000 円、入学試験料 460,000 円、再試験料 372,000 円となっている。

第 3 款 財産収入

財産収入は 85,005 円で、内訳は東濃看護専門学校財政調整基金の運用利息が
18,000 円、自動販売機設置に係る建物貸付収入が 67,005 円となっている。

第 5 款 繰越金

前年度繰越金として 1,000,000 円が収入となっている。

第 6 款 諸収入

諸収入は 14,272,396 円で、主な内訳は、施設整備協力金 8,200,000 円、教材実習
費 5,850,000 円となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は 102,078,550 円となっており、主な支出は職員等の人件費 78,709,795 円、消耗品費、光熱水費、修繕費、燃料費などの需用費 5,901,274 円、施設清掃及び空調設備点検などの委託料 4,813,506 円、非常勤講師、特別講師への謝礼金などの報償費 4,752,500 円、実習施設負担金などの負担金・補助及び交付金 3,773,238 円、その他学校運営に係る費用となっている。

(4) 東濃西部少年センター事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

教育費負担金として 13,997,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多 治 見 市	瑞 浪 市	土 岐 市	合 計
7,477,000	2,570,000	3,950,000	13,997,000

第2款 繰越金

前年度繰越金として、874,804 円が収入となっている。

第3款 諸収入

嘱託職員雇用保険の自己負担分として 14,916 円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 教育費

歳出総額は 13,847,850 円で、主な支出は嘱託職員等の人件費 8,746,156 円、指導員費用弁償分 2,147,000 円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	比 較
活動回数 (回)	431	410	-21
活動人員 (人)	1,801	1,703	-98
指導人数 (人)	86	37	-49
電話相談 (件)	20 〈20〉	18 〈18〉	-2
面接相談 (件)	3 〈4〉	1 〈1〉	-2
メール相談 (件)	15 〈9〉	12 〈6〉	-3

※ 〈 〉 内は相談人数を表す。

(5) 東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

衛生費負担金として 20,400,000 円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多 治 見 市	瑞 浪 市	土 岐 市	中 津 川 市	恵 那 市	合 計
0	1,800,000	6,000,000	9,000,000	3,600,000	20,400,000

第2款 財産収入

東濃地域医師確保奨学基金の運用利息として、34,200円が収入となっている。

第3款 繰入金

東濃地域医師確保奨学基金からの繰入として、56,798,040円が繰入られている。

第4款 県支出金

岐阜県地域医療確保事業費補助金として4,800,000円の収入となっている。

第6款 繰越金

前年度繰越金として、4,812,399円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は82,044,639円で、主な支出は奨学生への貸付金54,000,000円、東濃地域医師確保奨学基金積立金25,246,599円、各市支出金過年度還付金2,400,000円となっている。

(6) 東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

衛生費負担金として7,435,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
2,276,000	1,032,000	4,127,000	7,435,000

第2款 繰入金

東濃西部看護師修学資金貸付基金からの繰入として12,435,000円が繰入られている。

第3款 県支出金

岐阜県地域医療確保事業費補助金として5,000,000円の収入となっている。

第4 諸収入

看護師修学資金貸付元金収入として3,060,000円の収入となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として、5,000,000円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は27,930,000円で、主な支出は修学生への貸付金12,420,000円、東濃西部看護師修学資金積立金12,435,000円、各市支出金過年度還付金3,060,000円となっている。

(7) 東濃西部地域消費生活相談事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

総務費負担金として2,301,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位:円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
1,426,000	397,000	478,000	2,301,000

第2款 県支出金

消費者行政活性化基金事業費補助金として4,537,656円の収入となっている。

第3款 繰入金

東濃西部ふるさと活性化基金からの繰入として2,253,567円が繰入られている。

第4款 諸収入

雑入として、嘱託職員の雇用保険個人負担分22,044円となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として、505,630円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は9,094,508円で、主な支出は嘱託職員等の人件費8,476,629円、弁護士への謝礼金の報償費180,000円、消耗品費などの需用費108,938円となっている。

(8) 東濃西部広域行政事務組合財産状況

1 土地及び建物

土地及び建物は前年度と同様、2,582.81㎡であった。

2 物品(車両のみ)

物品は前年度と同様、小型乗用車3台、軽乗用車1台、小型貨物車2台であった。

3 債権

①医師確保奨学資金貸付金

平成28年度末現在高 451,800,000円に54,000,000円を貸し付けたため、平成29年度末現在高は505,800,000円であった。

②看護師修学資金貸付金

平成28年度末現在高 41,400,000円に12,420,000円を貸し付け、3,060,000円の償還に至り、1,140,000円が償還免除となったため、平成29年度末現在高は49,620,000円であった。

4 基金

①東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は、東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

平成 28 年度末基金残高 13,957,861 円に、平成 28 年度決算剰余金の内 1,939,025 円と、平成 29 年度の基金運用収入 18,000 円を積み立てた。平成 29 年度末残高は 15,914,886 円である。

②ふるさと活性化基金

本基金は、東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたものである。

平成 28 年度末基金残高 1,118,411,000 円に、繰入金の不用額 407,000 円及び繰越金のうち 156,988 円を積み立て、他会計への繰出金 14,425,000 円を取り崩した。平成 29 年度末残高は 1,104,549,988 円である。

③東濃地域医師確保奨学基金

本基金は、東濃地域医師確保奨学資金等の貸付のための経費に充てるために設置されたものである。

平成 28 年度末基金残高 63,249,608 円に、各市からの負担金 20,400,000 円及び基金運用収入 34,200 円、平成 28 年度決算剰余金 4,812,399 円を積み立て、平成 29 年度貸付額 54,000,000 円、市支出金過年度還付額 2,400,000 円事務費 398,040 円を取り崩した。平成 29 年度末残高は 31,698,167 円である。

④東濃西部看護師修学資金貸付基金

本基金は、東濃西部看護師修学資金の貸付のための経費に充てるために設置されたものである。

平成 28 年度末基金残高 0 円に、各市からの収入済となった負担金 16,215,000 円を積み立て、平成 29 年度貸付額 12,420,000 円、事務費 15,000 円、補正による各市への負担金戻入分 3,780,000 円を取り崩した。平成 29 年度末残高は 0 円である。

5 指摘事項

指摘事項は特にないが、要望事項は次のとおりであるので、今後はこれらの事項に留意し、事務に取り組んでいただきたい。

【東濃西部広域行政事務組合一般会計】

今後も継続して畜犬登録及び狂犬病予防接種の重要性をPRしていただくと共に、死亡等の調査を行う等登録件数の適正化に努めていただきたい。

【東濃西部ふるさと活性化基金特別会計】

補助事業について、継続して補助を行うことが適正であるか検討していただきたい。

研修事業について、形式化した研修内容を見直し、より効果的な研修を行うよう検討していただきたい。

【東濃看護専門学校事業特別会計】

医療技術の高度化に対応できる看護師の育成に心掛け、地域医療に貢献していただきたい。

【東濃西部少年センター事業特別会計】

子どもたちが悩みを相談しやすくなるよう、相談窓口のPRに努めていただくと共に、その手法について検討していただきたい。

また自転車関連の指導が増加していること、自転車事故が増加していることを踏まえ、自転車事故防止の啓発についても実施していただきたい。

【東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計】

地域医療に貢献する有用な制度であるため、効果的なPRをしていただくとともに、多くの医師が東濃3市に定着するような関係性の構築に努めていただきたい。

【東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計】

本制度は単に貸付を受けるというのみならず、看護師として地域医療に貢献できるものであること等を周知することにより、利用者の増加に努めていただきたい。

【東濃西部地域消費生活相談事業特別会計】

相談件数も増加しており、消費生活相談が定着していると考えられるが、今後も適切に対応できる相談窓口の周知に努められたい。

